

ついて解説された。本書の最後の第11章では「特徴的な沿岸の物理環境」として日本を中心とする沿岸環境の実態の特徴的な例を挙げてある。それには、黒潮・親潮などの我国周辺の海流、干潟やサンゴ礁などの海岸、国内の湾や沿岸などについて、それらの海洋物理学の特徴をまとめてある。

先にも述べたように本書はその内容を本書のみで理解できるように著者は配慮して書いてある。そのあらわれとして、本書には30項目に及ぶ付録が付してある。その内容はベクトル記号、KdV 方程式、Q値などの基本的なものから、浅海域の波の要素を求めるプログラムや2次元長波方程式の数値解法などの実用的なもの、2次元シア流の不安定性、傾圧不安定、ソルトフィンガーの発生などの流体力学的なものなど非常に多岐にわたっており、本書の理解の助けとなるばかりでな

く、付録だけでも有用な内容を含んでいる。一方で、非常に多くの参考文献が章ごとに挙げてあり、より深く調べたい時にそれが可能になるように配慮してある。

海洋学を40年余も研究されてきた博士の書かれた本書を評するには、評者は余りに若輩者であるが、先に述べた特長を持ち体系的にまとめられた本書は沿岸の海洋物理学について総合的な教科書になり得る著書であり、本書を読めばこれまでの沿岸海洋物理学に関する研究成果の大方がわかるように思われる。海洋学を研究する方々だけでなく、環境学、自然災害科学あるいは「天気」の多くの読者のような気象を研究する方々にも是非、精読をお薦めしたい著書である。

(東京大学海洋研究所 坪木和久)

気象集誌「HEIFE」特集企画のお知らせ

気象集誌編集委員会

「HEIFE」(黒河流域における大気-地表相互作用に関する日中共同研究)はWCRPの一環として半乾燥地域の地空相互作用を調べることを目的にした研究計画で、1989年～1993年の期間、中国黒河流域で日中共同による特別観測が実施されました。1993年秋には京都でシンポジウムが開催され、様々な新しい研究成果が発表されました。日本気象学会では、これらの研究成果を気象集誌の1995年10月号(73巻5号)で特集として編集することを計画しました。

下記の要領に従って「HEIFE」に関する研究論文を募集しますので、ふるってご応募ください。

(1) 内容: 「HEIFE」に関する研究成果

(2) 応募様式: 通常の気象集誌投稿規定に従う

(4部、「HEIFE 特集号」と明記)

(3) 提出期限: 1995年3月31日

(4) 提出先: 〒153 東京都目黒区駒場4-6-1

東京大学気候システム研究センター
新田 勲(気象集誌編集委員長)

各応募論文については通常の基準で査読を行い、論文の採用決定及び編集は気象集誌編集委員会が行います。採用の最終決定は1995年8月頃に行い、刊行は1995年10月末の予定です。通常論文の後に一括して印刷の予定です。なお応募論文については通常のページ・チャージが課せられます(気象集誌の投稿規定参照)。